

議員氏名：大沼 英樹

議案番号：議案第47号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

討論内容：

私は、議案第47号に、反対の立場で討論をさせていただきます。

3月議会での否決、5月臨時会での否決、2度にわたる議会の意思表示に対し、大きな変更はないと説明のとおり、3度目の予算案は、前回から僅か800万円減、全体の0.08%を削ったにすぎません。これは、1万円の商品から8円を引いて、値引きしましたので買ってくださいと言っているようなものです。

これは、町民や議会の声に耳を傾け、計画を見直す気などありませんという行政側の強硬的な姿勢の表れ、それが、この予算から総括的に判断されることではないでしょうか。

例えば、この程度の変更で予算が可決されるとするなら、そこには重大な問題があると思います。

このように長期にわたり町政を混乱に陥れている町執行部には、猛省をいただく必要があります。

予算説明資料追補版には、過去の反対議員への約束事のようなことが列記されておりますが、これでは、あたかも賛成の引換条項のようです。信頼関係があるとすれば、議論を通じて、町が主体的に政策を反映させる形で十分なはずが、わざわざ公文書に残さなければ信用してもらえないという事態は、現町政に対する深い不信感が表れているように見えます。